

忘れられぬ印象

芥川龍之介

青空文庫

伊香保いかほの事を書けと云ふ命令である。が、遺憾ゐかんながら伊香保へ
 は、高等学校時代に友だちと二人ふたりで、赤城山あかぎさんと妙義山めうぎさんへ登つ
 た序ついでに、ちよいと一晩泊つた事があるだけなだから、麗々れいれいし
 く書いて御眼おめにかける程の事は何もない。第一どんな町で、どん
 な湯があつたか、それさへもう忘れてしまった。唯ただ、朧おぼろげに覚え
 てゐるのは、山に蔓はびこる若葉の中を電車でむやみに上つて行つた事
 だけである。それから何とか云ふ宿屋へとまつたら、隣座敷に立
 派な紳士が泊り合せてゐて、その人が又非常に湯が好きだつたも
 のだから、あくる日は朝から六度も一しよに風呂へ行つた。さう
 したら腹の底からへとへとにくたびれて、廊下を歩くのさへ大儀

になつた。けれどもくたびれた儘で、安閑あんかんと宿屋へ尻を据ゑてもゐられないから、その日の暮方くれがたその紳士と三人で、高崎の停車場まで下つて来たが、さて停車場へ来てみると、我々の財布には上野までの汽車賃さへ残つてゐない。そこで甚恐縮はなはだしながら、その紳士に事情を話して、確かたし一円二十銭ばかり借用した。以上の如く伊香保と云つても、溪山けいざんの風光は更に覚えてゐないが、この紳士の記憶だけは温泉の話が出る度に必ず心に浮んで来る。何でも湯の中で話した所によると、この人は一人乗りの小さな自働車を製造したとか云ふ事だつた。今日の新聞で見ると、乗合自働車はもう出来たさうであるが、一人乗りの小さな自働車が出来たと云ふ噂はどこにもない。今ごろあの紳士はどうしてゐるか

し
5。

(大正八年八月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.waozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたった

のは、ボランティアの皆さんです。

忘れられぬ印象

芥川龍之介

2020年 7月13日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しむ青空ヘルパー <http://aohelp.club/>

※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。

<http://tokimi.sylphid.jp/>